

ご存知ですか 在宅ケアの新しいかたち

「複合型サービス」開設支援セミナー

地域に根ざし、生活の場を支える看護・介護の連携

平成 24 年の介護報酬改定で新たにスタートした「複合型サービス」。訪問看護と小規模多機能型居宅介護が一体となることで、医療ニーズの高い方も、住み慣れた地域で安心して療養できる場として大きな注目を集めています。

複合型サービス設立への関心は持ちながらも、「これまでの制度との違いは？」「具体的に何から手をつければよい？」など、疑問をお持ちの方のために、今後の地域包括ケア政策の動向や、設立までのプロセス、実践事例などを情報提供します。

主催：公益社団法人 日本看護協会

開催要項

- 開催方法：インターネットでのオンデマンド配信
- 配信時期：平成 25 年 2 月 1 日～28 日
- 募集人数：500 名(先着順)
- 参加費：無料
- 配信時間：約 2 時間 30 分
- 参加方法：以下の専用のメールアドレス宛てに、メールの件名を「セミナー申し込み」とし、
本文に①ご所属、②氏名、③連絡先(電話番号とメールアドレス)を記載の上、お申込み下さい。
お申込みを受付けた方には、返信メールで、試聴方法、配信開始日などをご案内します。
電話、ファックスでのお申し込みは承っておりません。

■ 申し込み専用メールアドレス：jna@d-k.jp

(セミナー運営事務局：株式会社デジタル・ナレッジ 内)

プログラム

●講演1 「看護の力で、新しい地域ケアを生み出そう」

公益社団法人日本看護協会 常任理事 齋藤 訓子

●実践事例1 「複合型サービスで、地域の安心を支える」

有限会社在宅ナースの会 代表取締役 小菅 清子氏

●講演2 「地域包括ケアシステムと複合型サービスの推進について」

厚生労働省老健局老人保健課 介護予防対策専門官 八田 睦美氏

●解説 「ナースがつくる『もうひとつの家』～複合型サービスを立ち上げるには～」

公益社団法人日本看護協会 政策企画部 堀川 尚子

●実践事例2 「Q&A 複合型サービスの実際」

有限会社在宅ナースの会 代表取締役 小菅 清子氏

聞き手：公益社団法人日本看護協会 政策企画部 チーフマネジャー 沼田 美幸



公益社団法人 日本看護協会
Japanese Nursing Association